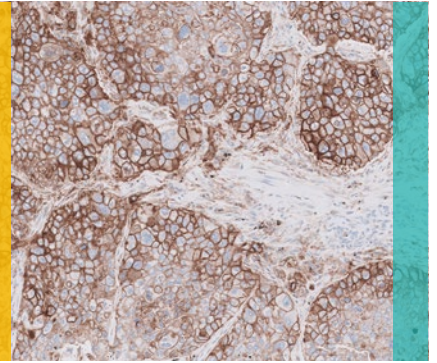




第 110 回日本病理学会総会 アジレント共催セミナー (オンデマンド配信)



会 期

2021 年 **4 月 22 日** (木) ~ **6 月 28 日** (月) オンデマンド配信

参加要件

学会参加登録が必要です。(詳細は裏面をご確認ください)

視聴方法

参加登録をされた方に事務局より届く「**専用 URL**」よりご視聴ください。

※詳細については学会事務局にお問い合わせください。

テーマ：品質・精度管理・ワークフロー効率化

Web セミナー 3

乳癌に関する最新トピックス
～実践的な診断・治療方針決定のために

川崎 朋範 先生

埼玉医科大学国際医療センター
病理診断科

Web セミナー 4

**病理診断の標準化と、
免疫染色の精度保証**

鬼島 宏 先生

弘前大学大学院医学研究科
病理生命科学講座

Web セミナー 5

肺がん診断における PD-L1 の歴史
～過去・現在・未来

南 優子 先生

国立病院機構茨城東病院
胸部疾患・療育医療センター
病理診断科

Web セミナー 6

**がんゲノムの検体品質管理のために
知っておくべき基本**
～なぜ、どのように電気泳動装置を使うか？

尾崎 正和

アジレント・テクノロジー
ゲノミクスソリューション
クリニカルワークフロースペシャリスト

Web セミナー 7

**患者さんのための IHC 標準化：
ダコからの学びと欧米における成功事例**

ハンナ・ソレンセン

アジレント・テクノロジー
病理検査室標準化・本社統括責任者

Web セミナー 8

アジレント・ダコからの提案
～なぜ、どのようにして特殊染色の標準化を進めていくか？

アレックス・ベイカー

アジレント・テクノロジー
特殊染色・本社統括責任者

Web セミナー 9

アジレント・ダコからの提案
～患者さん志向の IHC 標準化を目指して

オルガ・サンズ

アジレント・テクノロジー
免疫染色・本社統括責任者

| |
|------------------------|
| HOME |
| 会長挨拶 |
| 開催概要 |
| プログラム・日程表・各種委員会 |
| 参加登録 (1次締切3/31) |
| Web配信 |
| 指定演題登録 |
| 一般演題登録 / 採択一覧 |
| 講習会 |
| 共催セミナー |
| 参加者へのご案内 |
| 発表者・座長へのお知らせ |
| 会場案内・アクセス |
| スポンサー |

<http://www.gakkai.co.jp/jsp110/>
より引用 (2021/03/01)

アジレント共催セミナー バーチャル展示会へのご参加方法

参加登録期間

2021年3月1日(月)～6月23日(水)まで
(2021/3/5現在の情報です。変更があった場合は学会事務局にお問い合わせください)

学会ホームページより参加登録が必要です。

<http://www.gakkai.co.jp/jsp110/>

左記「参加登録」バナーよりご登録ください。

共催セミナー

参加方法

参加登録をされた方に事務局より届く「**専用 URL**」よりご確認ください。
学会のページのリンクからは参加いただくことができません。
※ご不明な点については学会事務局にお問い合わせください。

バーチャル展示ブース

参加方法

第110回日本病理学会トップページにある当社バナーより特設バーチャル会場に学会への参加登録なしでもお入りいただけます。学会会期中は、バーチャルサイト内にて当社エキスパートがお待ちしております。ご質問、ご相談など承りますので是非クリックして、バーチャル会場にお入りください。

その他関連ウェビナー

がんゲノム医療の概要とDNA品質管理の重要性

近年、国内においてもがんゲノム医療が進展し、腫瘍組織のがんゲノムプロファイルを網羅的に検査し、正確な診断や抗がん剤の選定といった治療方針の決定に役立っているということが、保険診療下でも一部実施されるようになってきました。その一方で、NGSシーケンシングを行う前のFFPEサンプル内のDNAの品質管理の重要性が臨床の現場では十分に認識されていないと指摘する先生方もおられます。

今回は国内のがんゲノム医療の体制が整いつつあるというまさにこの時期に、慶應義塾大学医学部の西原先生よりがんゲノム医療の概要を、同施設の柳田先生からFFPE検体作成の留意点とDIN値測定の意義について解説いただきました。示唆に富むお二方のご対談内容も収録し、がんゲノム医療に携わる医療従事者の方々や関係者の皆様に少しでもご参考になれば幸いです。

内容 (3部構成)

講演 1

がんゲノム医療の概要

西原 広史 先生

慶應義塾大学 医学部 腫瘍センター ゲノム医療ユニット

講演 2

**FFPE 検体作成の留意点と
DIN 値測定の意義**

柳田 絵美衣 先生

慶應義塾大学 医学部 腫瘍センター ゲノム医療ユニット

対談パート

西原 先生 & 柳田 先生

ウェビナーご登録受付中

エントリーサイトはこちら!

http://www.agilent.co.jp/chem/gwebinar_1



アジレント・テクノロジー株式会社

〒108-0023 東京都港区芝浦四丁目16番36号 住友芝浦ビル

●カスタムコンタクトセンター ☎ 0800-800-8910

mail : email_japan@agilent.com

<http://www.agilent.com/>

© Agilent Technologies, Inc. 2021

P210219-8



Trusted Answers